

令和6年度社会教育施設評価書（目標設定・実施結果）

施設名 歴史博物館

評 達 成 度 基 準	達成	（目標値 $\geq 100\%$ ）	<input type="radio"/>
	ほぼ達成	（目標値 $\geq 80\%$ ）	<input type="triangle"/>
	未達	（目標値 $< 80\%$ ）	<input type="cross"/>

○全館共通項目

		取組の内容		自己点検			評価 第三 者
		1年間の 目標値	実現方策	達成値 ※（）は「1年間の目標値 に対する達成率	達成度	課題・対応の方向	
利用者満足度	90% 6-6-③	・様々な機会をとらえて来館者アンケートを実施し、意見を活用して改善を行う。	98.0% (108.8%) 【参考：アンケート回答者数】 R4年度：1,202 R5年度：1,031 R6年度：1,002	<input type="radio"/>	・様々な機会をとらえて来館者アンケートを実施し、当館への意見を収集・検討・反映するよう努める。それにより充実した展示や講座等を実施することで利用者満足度の維持・向上を図る。		
利用状況	101,200人 ※ R5年度1日平均入館者数(440)にR6年度開館日数(230)を乗じた数 6-6-①	・集客力ある展覧会や各種事業の実施 【参考：R5年度実績】 入館者数：129,784人 開館日数：295 1日平均入館者数：440人	111,713人 (110%)	<input type="radio"/>	・特別展等に係る講座等を積極的に実施したことに加え、様々な解説者が展示解説を実施したこと、体験型イベントを増やしたこと等が入館者の増加につながったと考えられる。 ・訪日観光客が過去最多になるなど、観光客増加がさらに加速したことでも入館者数増に影響したと考えられる。 ・引き続き、充実した魅力ある展覧会・講座等を企画・実施する。		
教育・普及事業への参加者	(参加者数) 3,500人 4-1-② 今後の取組 (3)ア (若年層対象 イベント数) 4回 4-1-③ 今後の取組 (3)個別	・講座、講演会等を実施 R6実績 行事名 件数 参加者数 講座・講演会等 20 900 展示解説 24 780 体験教室・見学会 13 283 ミュージアムコンサート 1 61 ミュージアムミッション 1 570 講座等 合計 59 2,594 実習研修等受入 18 259 学校への出張講座 23 1,701 総計 100 4,554	4,554人 (130%) 8回 (200%)	<input type="radio"/>	・学校への出張講座は学校数が増えたが生徒数は減少傾向。講座等は応募者多数で抽選になることが多い。当選者が欠席し、結果として定員を割ることが少なくない点が課題。抽選のあり方などを検討する。		

		取組の内容 ※「1年間の目標値」欄下部の番号は当館個別評価の対応箇所	自己点検			評価 第三者
		1年間の目標値	実現方策	達成値 ※○は「1年間の目標値に対する達成率	達成度	
インターネットアクセス	(R5実績) 2,651,667 件 5-1-③	・システムの安定的な管理運用を行う。 ・ホームページの適宜更新を行い、最新のわかりやすい情報提供に努める。	5,702,722 件 (215%)	○	・システムの安定的な管理運用を継続する。 ・「神奈川県立歴史博物館デジタルアーカイブ」について、102,831 件のアクセスがありホームページ全体のアクセス数に大きく寄与していると考えられることから、内容の一層の充実を図っていく。 ・引き続きホームページの内容充実に努めるとともに、休館中の最新情報を提供していく。「おうちでかながわけんぱく」のコンテンツを追加する。	
資料・収蔵品	(特別利用) 198 件 605 点 6-4 今後の取組 (2)イ (画像データ件数) 49,488 件 6-5 (アクセス件数) 125,507 件 6-2 今後の取組 (2)個別 (常設展示室における展示) 約 1,275 件 3-1-② 今後の取組 (2)イ (実施数) 15 件 3-2-② 今後の取組 (2)個別	・写真資料の特別利用について、申請者に適切な指導を行い、事務手続を円滑に遂行する。 3か年平均：198 件、605 点 R3 年度：196 件、646 点 R4 年度：203 件、508 点 R5 年度：196 件、662 点 ・収蔵資料のデジタルアーカイブ化及び画像データを充実させる。	221 件 (112 %) 485 点 (80 %) 49,457 件 (100%) 102,831 件 (82%)	○ ○ △	・写真資料（画像）の利用にあたっては、デジタルアーカイブからの画像ダウンロードか、費用負担を伴う特別利用かを、利用者が選択できるようになっており、いずれの利用者に対しても充実したサービスを提供していく。	

	取組の内容 ※「1年間の目標値」欄下部の番号は当館個別評価の対応箇所		自己点検			評価 第三者
	1年間の目標値	実現方策	達成値 ※○は「1年間の目標値に対する達成率	達成度	課題・対応の方向	
	(資料収集及び長期借用数) 100 件 1-1-② 今後の取組 (1)個別	未来へ継承すべき「かながわ」に関わる資料の収集を着実に実施する。	116 件 (116%)	○	今後も充実した博物館活動を継続し、購入・寄贈・寄託等により必要な資料収集を行い、「かながわの文化と歴史」を総合的・通史的に扱う唯一の博物館としての役割を果たしていく。	
維持管理	・自然的要因を除く毀損(汚破損)の防止。 ・計画的な資料修繕。 1-3-①	・IPM(総合的害虫管理)を継続する。 ・資料受け入れ時に適切な保存処置を行う。 ・必要に応じて薬剤燻蒸を実施する。 ・収蔵庫及び展示ケース等の環境調査を定期的に行う。 ・修繕計画の見直しを行い、順次実施する。	・収蔵庫等の定期清掃、環境調査、資料燻蒸、展示室の空気環境調査等を実施するとともに、資料受入時の状態確認と処置を徹底した。 ・特別展示室ケース内の換気を継続的に実施し、展示環境の改善に努めた。 ・エレベーター更新工事に伴い収蔵庫・展示室等の養生を実施し、工事中の館内環境の維持に最大限努力した。 ・修繕計画に基づき優先順位の高い3件の資料修繕を実施した。	○	・館内の保存環境を維持するためには、空調機器のメンテナンス等を含めた継続的な取り組みが必要である。 ・工事休館中は収蔵庫・展示室等の環境維持のため、工程に応じて必要な対応を行う。 ・資料修繕を計画的に実施するために、修繕計画の不断の見直しを継続し、優先度や予算状況に応じて適切な修繕候補を選定する。	
研究成果の公開	(研究成果発信数) 155 件 今後の取組 (1)イ (文献等の執筆数、図録等執筆数、新聞雑誌寄稿数、研究集会での発表件数、講演会講師数の合計)	・博物館活動の基礎となる専門的な調査研究活動の充実を図り、積極的な研究成果の発信を行う。	204 件 (132%)	○	・研究活動のさらなる充実にむけて、研究費の確保と研究環境の整備に継続的に取り組んでいく。	
調査研究	(公的研究費活用数) 10 件以上 2-2 今後の取組 (1)個別	科学研究費助成事業等の公的研究費活用による研究成果を論文、展示などにより公開する。	68 件 (680%)	○	・今後も公的研究費の獲得に努めるとともに、論文・展示等による成果公開の質的向上を目指す。	

		取組の内容 ※「1年間の目標値」欄下部の番号は当館個別評価の対応箇所		自己点検		評価 第三者
		1年間の目標値	実現方策	達成値 ※○は「1年間の目標値に対する達成率	達成度	
情報発信	事業情報の発信	(発信数) 378 件	・HP (SMS 含む) を活用した情報提供やチラシ・ポスター、記者発表、その他による情報発信を実施 【参考：発信数】 3か年平均：423 件 R3 年度：416 R4 年度：395 R5 年度：458 今後の取組 (2) ウ	445 件 (118%)	○	・休館中限定の情報発信ページなどを活用し、休館中も HP へアクセスしてもらえるよう努める。 ・HP に館長によるブログを新設。 ・SNS によるタイムリーナ情報発信に努め、フォロワー数の維持につなげる。 ・新聞社やテレビ局、出版社等への広報印刷物送付を行い、休館中もつながりを維持する。
施設運営等	事観業覽等料料収収及及入入び	(R6 予算書の 収入積算額) 22, 850 千円 6-6-②	・来館者増につながる展覧会の開催など各種事業の実施	21, 008 千円 (91. 9%)	△	常設展及び各特別展について、有料入館者、図録販売について予算積算時の見込みに及ばなかった。
施設運営等	施設点検	高齢の来館者への配慮 6-1-②	・展示解説の読みやすさや館内の休憩スペース等高齢者の視点に沿った点検を行う。	グラフィックパネル 6 年度分の更新 (R7. 3. 28 納期)	○	展示解説や掲示類の見直しに向け、チームを設けて検討を行った。 館内の水分補給場所を拡大した。
	自己研鑽及び他館の研究	職員の研修受講件数 10 件以上 今後の取組」(5)個別	学芸員をはじめ、すべての職員が研修等に着実に参加し、資質向上を図る。 【参考】 令和 6 年度実績 28 件 当館主催 8 件 県他所属主催 6 件 文化庁等主催 7 件 団体等主催 7 件	28 件 (270%)	○	研修参加等により職員の資質向上に努める。